

5/9(土)に開催されたハイツセンターイングリッシュスクール開校 45 周年記念イベントを写真で振り返ってみたいと思います。

「えぼあ」は大きくて立派なホールでした！ハイツセンターの生徒さんはもちろん、このイベントで初めてこのスクールを知ったというお客様がたくさん来ていただきました。江別市内だけではなく、札幌、恵庭、小樽、帯広、そして遠くは名古屋、淡路島からも友人・知人が駆けつけてくれました。本当にありがたかったです。お祝いのお花もたくさんいただきました。



大きな会場で司会をするのは初めてのハイツセンタースタッフ達、とても緊張していましたが、会場のお客様の反応が暖かくありがたかったです。学園長のご挨拶では、45 年間スクールを支えてくださった皆様への感謝と、英語の持つ可能性について、短くではありますがお話しさせていただきました。「英語という KEY で未来へ続く扉を拓き、人とつながる喜び、新しい世界がひろがる楽しさを見つけましょう」 “English Is the Key to Open Your Future!” “Extend & Expand Your English Reach!” このことが、少しでも伝わったなら嬉しいです。



第一部は浦島久先生のセミナー「文法、音読、そしてスピーキングへ」。語彙や文法など土台をしっかり強くすることの大切さを伝える「英語の木」のお話から、効果的な音読の方法の具体例を映像で見ながらのレクチャーとなりました。会場のお客様にもリスニングやペアワーク、音読に実際に挑戦していただきました。ところでこの日、浦島先生が参加者の皆さんに質問した「英語がうまくなる条件」は何だと思いませんか？「生まれ持った才能・・・1%」「教師による助言・・・29%」あとの70%は？「反復継続力」だそうです！



第二部は桂かい枝師匠の「笑いは世界の共通語」。関東と関西でさえいろいろなことが違いますが、世界各国間となると、そこに生じる常識や笑いのつぼのズレは大きいですね。場合によっては紛争の種にだってなりかねない「文化の違い」を、かい枝さんがユーモアで笑わせてくれると「違っても楽しいな」と思えてくるから不思議です。そして英語落語、素晴らしかったです！少しの日本語を加えながら身振り手振りの熱演で、英語がわかる人、日本語しかわからない人、どちらもが楽しめるエンターテイメントでした。いろいろな国に行って、体当たりで落語を披露してこられたかい枝さんの経験談に、自分も「もっと英語で伝えたい！」と勇気をもらいました。



お楽しみ抽選会は、共催の全国外国語教育振興協会からご提供いただいた景品の他、浦島先生の著書、かい枝さんの CD と手ぬぐいも当たる、ワクワク豪華な抽選会となりました。また、イベント終了後の本の販売・サイン会では長い列ができ、浦島先生とかい枝さん大人気でした。



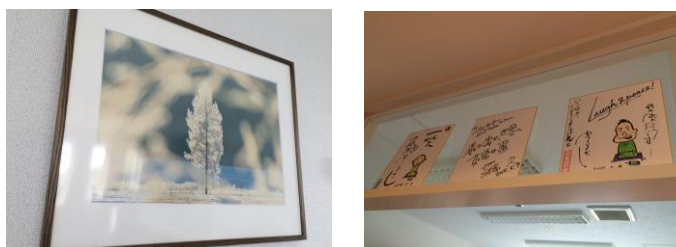
イベントの後、ささやかな祝賀会を行いました。ゲストの浦島久先生、桂かい枝さんにもお残りいただきました。ハイツセンターを45年前に設立したのは前の学園長瀬川榮一先生・教子先生ご夫妻。榮一先生は4年前にお亡くなりになりましたが、教子先生は今もお元気です。教子先生に英語好きにしてもらった生徒たちは一体どれだけたくさんいることでしょうか。私もその一人。教子先生に感謝を込めて花束をプレゼントしました。



元講師の Martin 先生や、生徒代表の澤向豊さんから暖かいお言葉をいただきました。また、元講師 Ian 先生と Kim 先生はビデオレターでメッセージを寄せてくれました。さらに、祝賀会に花を添えてくださったのは NY で活躍する新進気鋭のジャズピアニスト野瀬栄進さん。ジャズの定番の他、オリジナル曲で会場は大いに沸きました。野瀬さん、瀬川先生、浦島先生、桂かい枝さん、そして、乾杯の音頭をとってくださった銭函の脇坂工務店社長脇坂肇さん、皆さん自分の力で新しい世界を切り拓いてこられた方たち。本当にカッコイイ！尊敬する方たちです。



浦島先生とかい枝さんが、サプライズでハイツに色紙をプレゼントしてくれました。「飛び出せ、世界へ、英語は翼」(by 浦島久先生)、「Laugh & Peace」(by 桂かい枝さん)。お二人ともさすがです！素敵な言葉をありがとうございます。大切にさせていただきます。



この日は本当に素晴らしい45周年の記念日となりました。皆様ありがとうございました。ハイツセンターはこれからも創立の理念を守りつつ、常に新しく、楽しく、変化し続け、私たちと関わってくださる皆様とご一緒に友好の物語をつくり続けていきたいと思っております。どうぞこれからもよろしくお願いいたします。

